

議会報告会会議録	
1 開会日	平成27年11月15日(日) 午前10時00分 開会 午前11時30分 閉会
2 場 所	国府支所 2階 第1・2会議室
3 出席議員	吉川重雄議長 (開会あいさつ) 坂田よう子副議長 (閉会あいさつ) 奥津勝子議員 (司会進行) 清田文雄議員 (平成26年度決算のおもな審査内容について) 渡辺順子議員 ( " ) 玉虫志保実議員 (公園緑地維持管理事業) 二宮加寿子議員 (子育て支援総合センター運営事務事業) 全議員 (少人数に分かれての意見交換) 竹内恵美子議員 (記 録) 柴崎 茂議員 ( " ) 竹内恵美子議員 (会場受付) 関 威國議員 ( " ) 鈴木京子議員 (マイク設置等) 竹内恵美子議員 (写真撮影) 高橋英俊議員 (パワーポイント操作)
4 参加者	19人
5 報告事項	(1) 平成26年度決算のおもな審査内容について (2) 少人数に分かれての意見交換

議長あいさつ、議員自己紹介の後、報告担当議員から決算審査についてパワーポイントを使い報告。その後、少人数に分かれての意見交換を実施した。

(1) あいさつ・・・吉川議長

平成 21 年 11 月 1 日に施行した「大磯町議会基本条例」の規程に基づき行っている議会報告会も 10 回目を迎えた。今回は平成 26 年度決算の審査における議論の経過・結果を報告する。

その後、少人数に分かれて意見交換を行う。日ごろ皆様が感じている身近な話題を一緒に話し合えればと考えているが、誹謗中傷、個人的な話はお受けできない。議会報告会は、議員個人の意見を申し上げる場ではない。内容によっては町の答弁が必要なものも出てくるが、この場で町に替わって答弁するものではない点をご了解いただきたい。町に対するご意見は、後日、町にお伝えする。皆様からいただいたご意見、ご要望は今後の政策提言に繋げていきたい。

(2) 平成 26 年度決算のおもな審査内容報告

・・・清田文雄議員、渡辺順子議員、玉虫志保実議員、二宮加寿子議員

『議会だより大磯』第 180 号及び議会報告会資料に基づき、平成 26 年度決算に対する決算特別委員会及び本会議における主な審議内容等を報告。昨年に試行実施した事務事業評価を今年も実施。公園緑地維持管理事業及び子育て支援総合センター運営事務事業（つどいの広場等）についての評価結果を報告。

◎主な質疑

問： 町長選挙と町議会議員選挙を同時に行うことはできないのか。

答： 同時選挙については、町だけで考えるのではなく、議会も考えていかなければならない。一部の議員から「同時にやろう」という声もあるが、まだ議会全体の考え方が纏まっていない。議会報告会でご意見があったことを受け止め、今後、議会運営委員会などで検討しながら議会としての結論を出していきたい。

(3) 少人数に分かれての意見交換

はじめての試みとして、少人数に分かれての意見交換を実施。参加者、議員それぞれが 4 グループに分かれ、意見交換のテーマは決めず、身近な話題について話し合いを行った。

◎主な意見

グループ 1（町民 5 名・議員 3 名（竹内恵美子議員・関威國議員・鈴木京子議員））

意： 大磯運動公園の街路灯が一基消えている。また、斜面の管理をもう少ししっかりしてほしい。

意： 国府新宿で雨水管整備工事が始まったが、説明が不十分で工事の全体像が

分からず困っている。また、工事が始まり騒音の苦情も出ている。

意： いくさわ西の池跡公園の草刈、水やりが大変。トイレ、夜間の心配もある。これから町と協議することになっている。

意： 東海大学医学部附属大磯病院の拡張計画はどうなっているのか。若い人が住みやすい町になるためには産科再開が必要ではないか。

意： 国府橋拡幅の進捗状況はどのようなか。職員任せでなく、理事者も地権者に掛け合っしてほしい。避難路なので早い時期の完成を望む。

意： 月京バス停の歩道拡幅の進捗状況はどのようなか。

グループ2（町民5名・議員3名（三澤龍夫議員・奥津勝子議員・清田文雄議員））

意： 国府幼稚園の認定こども園への移行について、説明会は開かれたが情報が少なすぎる。

意： 預かり保育などいろいろなサービスがあるが、利用時間が限定され利用し辛く、本当に必要な時の利用ができない。

意： 町を活性化させる基本的な町づくりを示してほしい。住民も我慢するところは我慢するので、できること、できないことをはっきりしてほしい。

意： 「住みよい町、子育てしやすい町」というキャッチフレーズに対し、具体的にどのようなことが行われるのか。議会も町長の方針に対し、常にチェックを入れてほしい。

意： 大磯の自然豊かな環境を活かした教育を。メリットを活かし教育内容を充実させてほしい。

意： 人口減少問題に対し、若い人たちの移住が促進できるような環境づくりを望む。

意： 若い人が町政に積極的に参加できるような工夫が必要ではないか。

意： マリア道は名称変更すべき。例えば「運動公園通り」に改称したらどうか。

意： 大磯町にも二宮町のラディアンのようなホールがある施設がほしい。

意： 少人数に分かれての意見交換の時間がもう少しほしい。

グループ3（町民4名・議員3名（二宮加寿子議員・玉虫志保実議員・高橋英俊議員））

意： 観光で若い人たちを呼ぶのであれば、道路や産業、また、農産物を販売する「道の駅」など、町民ぐるみで参加できることを考えるべきと提案したが、町から回答がない。

意： 町の活性化政策には、若い人たちに来てもらえる環境づくりが大切だ。

意： 大磯運動公園利用の車は多い。道路整備が必要である。土地が取得できた部分からマリア道の整備をはじめたらどうか。

意： 月京幼稚園跡地に東海大学医学部附属大磯病院は病棟を建てないのか。

意： 災害時に道路は大事だ。道路が拡幅できていない箇所が見受けられるが、

交渉がきちんと進んでいるかとても心配だ。

グループ4（町民5名・議員3名（片野哲生議員・渡辺順子議員・柴崎茂議員））

意： 町長と議員の同時選挙は是非実現してほしい。経費削減と投票率アップのためと考えてほしい。必要であれば陳情を提出する。

意： 財政状況が厳しい中、所得制限もなく第2子に対する保育料無料化を行って大丈夫か不安だ。

意： 大磯町は観光に力を入れているということだが、案内版はわかり難く、ガイドブックも一致していない。その為か迷っている人たちがかなり見受けられる。もっと親切に案内できるようなことを考えるべきではないか。

意： 「大磯町町民憲章」のプレートが町内のところどころにあるが、ボロボロになり壊れているものもある。点検し、必要なものであればきちんと整備すべきだ。

意： 馬場公園には昼間も点いている水銀灯がある。木が茂り、センサーが機能していない。近隣の人声も聞き、公園の木の剪定をきちんと行ってほしい。

意： 自分達の利用するゴミの集積場所に他所から来て捨てていく人がいる。どうしたらよいか。

意： 大勢の前では言えないとも言える。この意見交換の場をこれからも続けてほしい。

#### (4) 閉 会

---

---